

「憲法九条を守るわかやま県民の会」 ニュース

NO.112 10.3.17 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

5.9 全県署名総行動と 憲法集会の成功を！

「県民の会」運営委員会開催

3月5日（金）夜、憲法9条を守る和歌山県民の会は高校会館で第16回運営委員会を開催しました。

「国会法」改悪阻止、普天間基地の無条件撤去を！

情勢報告で、内閣法制局長官の答弁禁止により、憲法の解釈が時の内閣によって勝手に変更され、自衛隊の海外での武力行使に道を開く国会法改悪を許さない取り組みとともに、9条と米軍基地は相容れないとの立場から、沖縄県民の土地をアメリカが国際法に違反して強奪した普天間基地の無条件撤去を求めることが重要であると強調されました。

第3回全県署名総行動（5月9日）の成功を！

署名地域や参加者を過去最大にすることを目標とすることや、そのために県民の会が作成するリーフを使い学習活動を多様な形で旺盛にすすめることが意思統一されました。

5月憲法集会を成功させよう！

5月9日午後には和歌山市で開催される5月憲法集会を、新しい憲法情勢の学習と決起の場として重視して取り組むことが意思統一されました。

組織・事務局体制強化

共同センターとしての機能を強めるために有給事務局員を配置すること、運営委員会の下に、日常的に運動を推進するため、新たに常任運営委員会を設置することが決められました。

核廃絶署名 約10万筆

交流の中で、原水協から核廃絶署名が県内で約10万筆に達したこと、NPT再検討会議に16人参加予定との報告がありました。

街頭宣伝妨害をはね返そう

自由法曹団からは、9日宣伝など街宣車で停車してのマイク宣伝へ県警から妨害があるが、憲法違反であり、はね返そうとの提起がなされました。

「60年安保改定から50年」森 英樹氏が講演

和歌山市共同センターが学習会

2月27日（土）午後、和歌山市勤労者総合センターで憲法9条を守る和歌山市共同



センターが「春の情勢学習会」を開催し63人が参加しました。うたごえオールスターズが「アメージンググレイス」「ねがい」「憲法9条五月晴れ」などのピースソングを歌った後、龍谷大学教授の森 英樹氏が「60年安保改定から50年」の演題で憲法講演を行いました。講演の中で、先の総選挙で、新憲法制定議員同盟所属議員が大量落選したこと、当選議員の態度が05年の選挙時と比較して改憲賛成が大幅に減っているなど改憲反対世論が前進している事を示し、背景として「9条の会」の広がりなど改憲反対の運動の前進があることが指摘されました。しかし、鳩山氏が改憲試案の中で、9条を変えて自衛軍を置くことと述べていることや、民主党憲法提言（2005年）の中で、多国籍軍を含む国連主導の軍事行動に自衛隊が参加することを可能にする9条改憲を主張しているなど、依然として安心できない状況にあることに触れました。その背景には民主党が日米安保条約に基づく日米同盟（軍事同盟）を基軸とする路線を持っていること、憲法9条と共存不能な日米同盟打破が重要であることが強調されました。

憲法9条を守れるかは私たちの地道な草の根運動と世論の高まり

医療生協9条の会が第5回総会

2/23(火) 医療生協九条の会が第5回総会と学習講演を開き、組合員さんら32人が参加しました。第1部は学習講演で、憲法九条を守る和歌山県民の会事務局長の坂本文博氏に「新政権下の9条をめぐる動き」について学びました。坂本氏は、鳩山首相はもともと改憲論者であること、民主党のマニフェストでは、憲法改正について慎重かつ積極的に議論するとなっているものの、連立政権合意では憲法改正を封印している状況で、慎重な対応をせざるをえない背景には、9条を守る草の根運動と世論の力であることを強調し

ました。しかしながら、解釈改憲への危険性があり、9条を形骸化する動きが、この間の沖縄・普天間基地問題や米軍関連の予算が自公政権時代より491億円増えていること、国会法の改悪のねらいなどもあり、注意を払う必要があるとのべました。また、アメリカや財界の改憲への圧力が変わっていない中、9条を守れるかどうかは、全国7500の九条の会、和歌山では90ある九条の会をさらに広げ、9条を守る地道な草の根運動をすすめようとしめくりました。

第5回総会は、2009年の活動報告と2010年の活動方針が提案され、拍手で確認されました。活動報告では、憲法25条、旧沢内村深澤村長を描いた劇映画、いのちの山河-日本の青空II-の上映運動にとりくみ、602名の参加で成功させたことなどが、報告されました。



参加者の報告では、東地区宮北支部の谷口さんから、「核兵器のない世界を」国際署名は、広島や長崎の話を話題にしながら、核兵器をなくそうととりくみやすい署名であること、支部目標600筆に対して740筆あつまった。5月のNPT再検討会議までに、ぜひ1000筆に到達したいと報告しました。南地区の里崎さんは、平和夏まつりで「すいとん」をつくって、当時を思い起こし、署名にも協力してもらった。また、機関紙「健康と暮らし」の手配りで協力していただいている組合員さんに、それぞれの配布先で署名を集めていただき、組合員さんの力はすばらしいと報告されました。(医療生協 父川)

5月憲法集会

日時 5月9日（日）14時開会

会場 プラザホープ4階ホール

講師 小沢隆一

「憲法9条と日米安保50年」

東京慈恵会医科大学教授

(憲法学・政治学)

「9条の会」事務局メンバー